

平成29年度(2017年度)

管理事業名	児童会館事業				総合計画の 体系	第3章 第1節	健康で安心して暮らせるまちづくり すべての子どもが健やかに育つまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	3	民生費	(項)	2	児童福祉費	(目)	8	児童会館費
部局名	児童部	予算執行所属		子育て支援課						
予算大事業名 児童会館管理事業 児童会館運営事業 児童会館改修事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
<b>事業の目的と概要</b> 児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童会館・児童センターの管理、運営を行っています。 0歳から小学生までの幅広い子どもたちが安心していつでも利用できます。乳幼児とその保護者を対象とした幼児教室などを通じてあそびや交流の場を提供し、仲間づくりを促進しています。 また、老朽化に伴い、児童会館・児童センターの改修を行っています。										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
延べ利用児童数	人	242,331	246,342	243,929	児童会館・児童センターを利用した児童数
幼児教室延べ参加児童数	人	18,787	15,378	15,656	幼児教室に参加した児童数
成果の説明	就学前の児童を対象とした幼児教室の実施や午後に開催する毎日の行事の実施回数を増やすなどの取り組みを行い、児童会館・児童センターの利用は増加傾向でしたが、近年横ばいの状況になってきています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	20,434	26,503	20,120	△6,383
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	4	6	1
その他	1,017	1,508	641	△867
経常収入 小計(a)	21,451	28,015	20,767	△7,249
給与関係費	274,976	274,107	282,583	8,476
物件費	58,863	63,909	57,425	△6,484
維持補修費	8,006	22,000	13,908	△8,092
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,363	2,401	2,416	15
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	21,645	21,857	24,883	3,026
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,580	1,854	1,880	26
退職手当引当金繰入額	468	3,719	1,982	△1,738
支払利息	4,237	2,883	1,615	△1,268
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	372,137	392,731	386,691	△6,040
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△350,687	△364,716	△365,924	△1,208
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△350,687	△364,716	△365,924	△1,208
一般財源充当額	394,342	448,911	380,705	△68,206
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	43,655	84,196	14,781	△69,414

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係経費	非常勤職員報酬 206,616千円 臨時雇用員賃金 9,689千円 職員人件費 23,962千円 運営委員会委員報酬 7,791千円
物件費	千里山竹園児童センター管理等委託料 25,060千円 光熱水費 10,947千円 清掃業務委託料 9,859千円
維持補修費	豊一児童センター改修工事費 9,293千円 小規模修繕料 4,615千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	21,451	27,337	20,767	△6,570
行政サービス活動支出	352,143	368,796	361,821	△6,975
行政サービス活動収支差額	△330,692	△341,459	△341,054	405
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	11,051	58,283	10,422	△47,860
投資活動収支差額	△11,051	△58,283	△10,422	47,860
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	52,598	49,170	29,229	△19,941
財務活動収支差額	△52,598	△49,170	△29,229	19,941
収支差額 合計	△394,342	△448,911	△380,705	68,206
一般財源充当額	394,342	448,911	380,705	△68,206
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(投資活動支出)
児童センター改修工事費10,422千円 (財務活動支出)	
地方債元金償還金28,350千円	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	242,331人	1,536円	利用者1人あたり1,585円のコストがかかっています。
	平成28年度	246,342人	1,594円	
	平成29年度	243,929人	1,585円	
1館あたりのコスト	平成27年度	11館	33,830,636円	1館あたり35,153,727円のコストがかかっています。主に改修工事費の支出の減により、1館あたりのコストが減少しました。
	平成28年度	11館	35,702,818円	
	平成29年度	11館	35,153,727円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	30,230	9,489	△20,741
流動資産	-	-	-	地方債	28,350	6,561	△21,789
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,854	1,880	26
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	26	1,048	1,022
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	3,406,793	3,397,452	△9,342	固定負債	88,863	85,481	△3,382
有形固定資産	2,790,247	2,790,247	-	地方債	68,455	61,893	△6,561
土地	616,498	602,916	△13,582	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	48	4,289	4,241	退職手当引当金	20,384	20,345	△39
リース資産	-	-	-	リース債務	24	3,242	3,218
建設仮勘定	678	678	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	119,092	94,969	△24,123
固定資産	-	-	-	純資産	3,288,380	3,303,161	14,781
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	3,288,380	3,303,161	14,781
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,407,472	3,398,130	△9,342
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,407,472	3,398,130	△9,342				

Ⅲ 財務構造分析

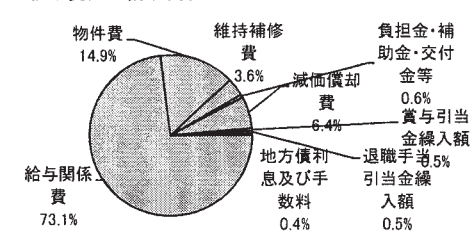
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	実人数	
3人	3人	63.75人	1,297日	186人	186人	286,444
給与関係費等	27,823 千円	239,595 千円	11,235 千円	7,791 千円		
内、時間外勤務手当	2,512 千円					

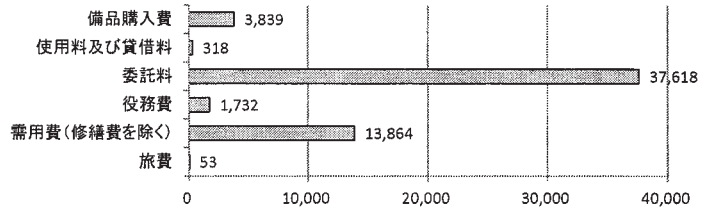
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	豊一児童センターの改修工事による10,422千円の増、児童会館・児童センター(建物)11館の減価償却による24,004千円の減
リース資産	児童会館・児童センターの簡易印刷機各1台更新による5,119千円の増、減価償却による853千円の減
地方債	豊一児童センター及び千里山竹園児童センターに係る地方債元金償還による28,350千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	千里丘児童会館ほか10館
取得年月日	昭和37年(1962年)4月1日～平成21年(2009年)9月1日
建物・工作物の取得価額	1,236,556 千円
建物・工作物の減価償却累計額	633,640 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.7	1.8	1.1	△ 0.7
施設老朽化比率	50.3	49.7	51.2	1.5
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	94.8	94.3	94.8	0.5
経常費用対公共資産比率	31.9	32.0	31.3	△ 0.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

給与関係費282,583千円が経常費用の73.1%を占めています。経常費用のうち給与関係費については、前年度と比べ、主に、無休の休暇等を取得していた職員の復職により8,476千円増加しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

耐震補強が必要な施設の工事は完了していますが、必要な大規模改修を計画的に実施し、長期的な視点での維持補修費の削減を図る必要があります。事業に係る経常費用の73.1%を占める給与関係費を削減することは困難だが、利用児童1人当たりのコスト等を踏まえ、事務改善を行っていく必要があります。